

犬の保護と譲渡



昔はたくさんの子犬が自治体に引き取られていましたが、今は不妊去勢と責任ある飼い方が広がり、子犬の収容は少なく、譲渡の対象となるのは迷い犬で飼い主が現れなかった犬や、やむをえない事情で飼い続けることができなくなった犬など、成犬が主流です。

成犬の譲渡は、成長後の体格や性格がある程度わかっている利点があります。

譲渡では、犬の気質・性質と、譲渡を希望する人の生活スタイルや家族構成、性格などを合わせて判断する「マッチング」が重要になります。

流行や見た目だけで判断せずに、自分に合った犬を選びましょう。

猫の保護と譲渡



猫の場合は犬と異なり、自治体での引取りや保護収容のうち子猫の割合がかなり高く、また、やむを得ない事情で飼い続けられなかった猫や、保護された成猫なども譲渡の対象となっています。

犬と同様に、譲渡の時には、猫の気質・性格と譲渡を希望する人との「マッチング」が重要です。特に、複数で飼うときには、猫同士の相性や他の動物と同居できるかなど、猫の気質・性質の理解がとても重要になります。

譲り受けてきたばかりの猫はとても不安を感じていることが多いため、新しい環境にゆっくりと慣らしていくことと、逃げ出さないように注意することが大切です。屋外では感染症や交通事故のリスクが高いため、猫は必ず室内飼育しましょう。

一般的な譲渡の流れ

以下の流れは自治体の一例です。自治体や動物保護団体により、譲渡の条件や過程は異なります。

